

調湿

元来日本の住いは、木、紙、土、石等の自然素材から成り、通風や素材由来の調湿が自然に行なわれていました。建築基準法の施行以降、コンクリートや鉄で造られた建物と椅子とフローリングの生活が始まりました。その後工業製品住宅ができ、今では住いや商業施設、オフィス等のすべてが、石油製品となりました。さらにCO₂の削減など省エネ法、ホールダウン金物に依る建築構法などの新しい法律は、高断熱、高气密、24時間換気等で良い面と逆効果な面を露呈させ、生活空間の環境は、著しく変化しました。シロアリやカビなど、調湿が原因とされる被害が増えています。

今改めて自然素材の持つ特性や機能に着目し、技術による性能向上を図ることでよりよい室内環境を目指し、調湿による快適環境を提案します。

霜野 隆 (株式会社 レスト 一級建築士事務所)

(一社) 東京建築士会 監事

(一社) 日本インテリアプランナー協会 会長

(一社) 東京インテリアプランナー協会 副会長

(公財) 建築技術教育普及センター 理事



プレゼンテーション

調湿建材『エコカラット』の開発背景

一般に人がすごしやすい湿度は40%-70%と言われており、湿度が高いとカビやダニが繁殖しやすくなったり、逆に乾燥しすぎるとウイルスなどが空気中にとどまりやすくなります。調湿建材『エコカラット』は湿度が高いときは湿気を吸い、湿度が低いときには湿気を吐きだすことで、室内をちょうどいい湿度に保とうとする壁材です。

エコカラットのルーツは日本の気候と相性のよい伝統工法「土壁」にあります。土壁の素材をヒントに、LIXILが長年の研究で培ってきた焼きものの技術を融合した商品です。

今回はエンドユーザーにも人気の調湿建材『エコカラット』を参考に、調湿建材をより効果的に使う手法と人気商品の開発背景を紹介します。

道見 雄哉

(株式会社 LIXIL タイル事業部 タイル商品部 エコカラット・住宅外壁G)

2011年 LIXIL入社、タイル開発部 エコカラットの設計を担当

2015年 タイル商品部 エコカラットのプロモーションを担当

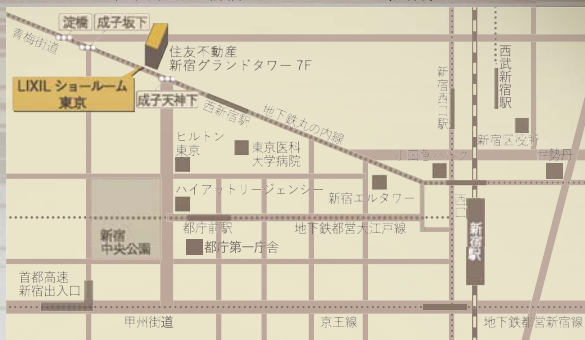


空気と内装材から快適空間を考える

室内環境配慮型の建材が多く商品化されている昨今、この度のBridgeでは「調湿」に焦点を当てたセミナーを開催します。2名の講師から調湿建材の原理や基礎知識、使い方までをお話し頂くと共に、ショールームでの実物による空間体験を通して「調湿」への知見を深めます。

会場 LIXILショールーム東京

東京都新宿区西新宿8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー7F(受付)



定員 55名(申込先着順)

会費 正・準会員 1,000円 一般 2,000円

事前振込: 振込先はお申込み完了後にメールでご連絡致します

「tokyokenchikushikai.or.jp」からのメールを受信できるようにお願いします

申込 東京建築士会HPもしくは下記URL・QRコードより

申込みフォームにアクセス頂き必要事項を入力の上お申込みください

<https://goo.gl/forms/iQsnu5wW4I2Eojss1>



問合せ 一般社団法人 東京建築士会 事務局担当: 遠藤 TEL: 03-3536-7711

主催 一般社団法人 東京建築士会 / 一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会

企画 一般社団法人 東京建築士会青年委員会

一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会 技術・景観部会

2018年

5月29日(火)

14:00-17:00

(受付開始13:45-)

Bridge とは

建築基準法の法改正・環境問題など、建築を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、住関連ビジネスにおいても、高度な情報・知識・技術を駆使できるプロが求められています。そして生活者(消費者)はより快適な環境の実現を求め、各産業への期待がますます大きくなっています。このような時代、材料設備を供給する企業産業と生活者に近く設計及びスペックする建築士との勉強会を開催することにより、横断的な情報交流・研究の「場」となり、自己研鑽だけでなく新たなモノが創造(アウトプット)される環境となることを目指しています。

【個人情報の取り扱い】

本参加申込書に記載頂いた情報は適切に管理し、本セミナーの運営及び、東京建築士会が開催するほかのイベント案内・照会の為に利用する場合があります